

平成27年度第5回「松阪市地域公共交通協議会」議事録

日時 平成28年2月22日（月）10:00～

場所 松阪市役所5階正庁

【出席委員】寺本博美、小藪助次右衛門、宮村みどり、馬場栄一郎、内山宜哉、森本臣紀、鳥田茂、西出みはる、松本隆雄、田中和子、岡田るみ子、福井弘、野田敏幸、福田由佳、堀上哲夫、大江浩、廣田昇、今西義則（代理）、杉山正樹

【関係者】三重名鉄タクシー、嬉野地域振興局、三雲地域振興局、飯南地域振興局、飯高地域振興局

【事務局】 交通政策室 室長：中田順也 主査：久保忠秀、三田歩

《協議事項》

1. 会長挨拶

2. 議 題

(1) 松阪市運営コミュニティ交通の変更について

- ①機殿朝見コミュニティバス停留所の移動について
- ②三雲たけちゃんハートバス停留所の新設について
- ③廃止代替バス（宇気郷線、阿坂小野線）の運賃変更について
- ④市街地循環線「鈴の音バス」の運賃変更について

(2) 市内でのコミュニティバスなどの検討・協議などの報告

《協議内容》

会長

事項書に従い進めてまいります。まず1件目は機殿朝見コミュニティバスの停留所の移動について、事務局から説明をお願いします。

事務局（「機殿朝見コミュニティバス停留所の移動について」資料に基づき説明）

会長

前回、説明もありましたが、若干手続き上の確認が取れていない部分があったということで、再度、確認が取れたということで、合意をいただきたいと思います。確認したいことなどありますか。50メートル程の移動で、集会所内に移動ということで、ダイヤについては、そのままということです。何かございますか。なければお認めいただいたとさせていただきます。よろしいですか。

では、2件目三雲たけちゃんハートバスの停留所新設についてです。事務局から説明をお願いします。

事務局（「三雲たけちゃんハートバス停留所の新設について」資料に基づき説明）

会長

嬉野に停留所が一つ追加と。新屋庄に追加したい。それぞれのバス停の間の所要時間が短いところですが、この件について、何かご質問などありますか。

それでは、3件目、廃止代替バスの宇気郷線と阿坂小野線の運賃変更について、事務局から説明をお願いします。

事務局（「廃止代替バス（宇気郷線、阿坂小野線）の運賃変更について」資料に基づき説明）

会長

廃止代替バスの運賃変更とは、ICカードの導入ということで、次の議題とも関連ありませんが、廃止代替バスの運賃変更とそれに伴うICカードの導入について説明を受けました。何かご質問などありますか。

私もいっぱいICカードを持っていますが。こういったICカードを使って、どこでも乗れるので、バスについては、ICカードも使えるところ使えないところもあります。阪急バスでは使えないのですが、地域によってICカードの使い方もいろいろありますが、あれば便利です。何かご質問ありますか。細かく言うと、カードに名前を付けるものもありますし、色々やりかたもありますが。問題は、使う方が迷わないで使えるようにしないと、今のカードもありますので。例えば、ガラケーとスマホで切り替えたときに迷う部分がどうしても出てきます。導入するのは良いことです。どうでしょうか。

委員

いろいろ説明していただきましたが、あくまでも利便性を図っていくということです。運賃の変更という議題ですと、運賃が変わるのかなと思いますが、単純にICカードが使えるようになるかと理解していただきたいと思います。今まで、バスカードが使われてきた方も、みえると思いますが、バスカードの販売は3月をもちまして終わりになります。ただし、今あるバスカードは、4月1日以降も使えるということです。ご安心いただいた上でこれからは、ICカードをお買い求めいただければと思います。記名式のものなどもあります。例えば、小学生の方は小人運賃が適用されますので、松阪の場合では、営業所と駅前の出札で対応させていただく予定ですが、窓口で記名式を申し込んでいただいたら、いちいち降車の時に小学生ですと言ってもらわなくても、カード自体が認識しますので、身分証の提示など必要なく乗り降りできるようになります。ただ、明らかに大人の方が小学生のものを持って使われたりすれば、乗務員から確認させていただくこともあるでしょう。あくまでも記名式というものは、割引対象の方が、利用のたびに証

明書などを提示していただかなくても乗り降りできるというものです。冒頭申しましたが、IC カードという手段でバスが利用しやすくなりますということで、ご理解いただきたいと思ひます。

会長

ありがとうございます。徐々に慣れていくと思ひますが、便利になるということで。環境的にもバスカードは使い捨てで、IC カードは丈夫なもので、一枚いくらかわかりませんが。それぞれのIC カードの特典があると思ひます。利用によってポイントということで、世の中何でもポイントがありますが。買うのもポイント、資源ごみを出してもポイントというスーパーもあります。便利になるかと思ひますし、こういうものを持てれば、地域だけでなく色々な地域のかたも乗車券を買わずに利用できるので、そういう意味では、ボーダレスになってきて、使い勝手がもっと良くなって、昨日も松阪でいろいろな方が電車から降りてきたのを見ておりますので。ご同意をいただければと思ひますが、いかがでしょうか。

では、続きまして、4番目の議題について、事務局からお願いします。

事務局（「市街地循環線「鈴の音バス」の運賃変更について」資料に基づき説明）

会長

鈴の音バスもIC カード化ということですが、若干特典の部分が違ふということで。何かご質問などありますか。あとは、利用に際して、無くしたりなどいろいろあると思ひますので、直接聞いてもらえればと。

委員

2点質問します。IC カードということで、多分、県内ではコミュニティバスとして鈴の音バスが初めてだと思ひます。乗り継ぎの割引がないということですが、ゆくゆくは料金設定などどうなっていくかわからない部分もありますが、料金設定を合わせていくなどするならば、乗り継ぎ割引はあった方が良ひのかなと。これから鈴の音と一般路線バスの乗り継ぎなど考えるとあった方が良ひと思ひますので、よろしくお願ひします。もう一つ、エミカの販売についてですが、車内で乗務員による販売はあるということによろしいですか。

事務局

まず、エミカの販売についてですが、鈴の音の車内でも販売していただけると聞いております。あと、割引の部分についてですが、確かに県内で松阪市が初めてということですが、三重交通に確認したところ、技術的な問題ではないということで、変更もできるということで、今後調整していき、互いに納得できるところを見いだせれば、割引などの対応

もさせていただきたい思います。全国的にコミュニティバスでICカードが使えるようになるところでも、コミュニティバスについては、ポイントや割引の対象外というところが、ほとんどと聞いております。

委員

タクシー協会です。加藤副会長とも先日話しましたが、行政も新聞記者などにPRしていただきたいというのが、1点。無記名式のカードで、3人や4人のグループで乗ったときは、1枚のカードで使えますか。

委員

ご質問のありました無記名式のカードで、二人三人で乗られた場合、降車の際に、通常でしたら、カードをかざすだけですが、乗務員に言っていただきましたら、機械操作をして人数分の利用とさせていただけるシステムになっていますので、ご安心ください。

会長

ほかにありますか。小銭を持ち歩かなくていいというのは、便利だと思います。鈴の音は、100円ですが、小銭ですので。両替も安全とも言えませんので、止まっているときにやらなければいけませんので。そういう別の面でも良いのかなと思います。確かに委員がおっしゃったように初めてなのだから、もっと宣伝しなければと思います。できるだけ、PRしましょう。特になければご同意いただいたとさせていただきます。

続いて、2番目の報告事項です。市内でのコミュニティバスなどの検討状況の報告ということで、事務局からお願いします。

事務局（「市内でのコミュニティバスなどの検討・協議などの報告」資料に基づき説明）

会長

既存のコミュニティバス、地域との関わりの中で、とくにまちづくり協議会で地域計画を策定され、その中での移動手段としてのバスのアンケートを実施しながら、さらに生活の中に密着した形で、便利さを求め、停留所の新設やルートの変更などの希望があるということでした。既存路線のところでした。もう一つは、移動手段の空白地域ができてしまうということになると。移動手段を確保するということは、基本的な私たちの生活していく上での権利にもなりますので、どこに住んでいても同じように生活できるようにしていくというのは、おそらく行政の大きな仕事だろうと思います。あるいは、私たち地域の人たちも考えなければならぬことかもしれません。公共交通の空白地域での検討協議も始まっているということです。二つの地域が出ましたが、一つはアンケートをしながら地域計画の中で今後の巡回バスの可能性を探っているということです。さらには、相談があ

って、これからどうしようと検討する。おそらく、空白地域の便利さを守っていくためには、それなりにコストがかかるので、すべて OK ということには、なかなかならないと思います。交通空白地域で、あまりにも費用が掛かるからと言って、便利さを損なうようにしてしまつては、問題があるかと思つたので、難しいところです。自分たちの足は自分たちで守るというのが基本でしょうけど、なかなか全部自分たちだけでやるということも難しい。協力し合いながら進めていくということになると思います。この辺について、何かご意見いただければと思います。いかかでしょうか。

委員

幸地区ですが、先日、進展状況を聞いてまいりました。2月29日締め切りで3300戸全戸対象にアンケートを実施していて、現在配布済みということでした。警察の官舎なんかは、異動が多いということで、対象にはしませんでした。一つの地区が、日を間違えていて、集計が一部できているので、紹介します。内五曲です。高齢者は積極的で、若年者は消極的というのは、どこも同じですが、コメント欄にいろいろありました。新町通りから商業通り、五曲橋の間にバスがほしいとか、鈴の音バスは便利だが、間隔が開きすぎている、1時間に1本はほしいなど。パワーセンターと城南住宅前の距離が長いので、その間にバス停を新設してほしいという要望もありました。ただ新設しても利用がないので、できれば城南住宅前から曲がって、沖川に向かって、近鉄道路の内五曲交差点に出てくるのが良いのじゃないかという意見もありました。こういう意見もありました。利用者に高齢者が多いので、乗り口の左回り、右回りをもっと大きく書いてほしい。また、乗り間違えをしたときの対応を考えてほしい。などの意見がありました。バスの本数が少ないという意見もありました。以上です。

会長

委員から、実際の幸のアンケートの内容についてでした。いくつかの問題点があり、どこでも出てきそうなものですが、なかなかすべての要求を満たすということは、難しいと思います。便数も1時間に1本と。おそらくこれは、利用者が増えれば、増やさざるを得ないですが、利用がなければ増やせないというところもあります。なかなか折り合いが難しいですが、いくつかの視点の紹介をいただきました。委員が普段バスやタクシーなどの公共交通を使われているかという、ほとんどの方がマイカーを利用することが多いと思います。その中で、公共交通の問題を考えなければなりませんので、身をもって知るとのこと。実際に使ってみると、気づくことが多いと思います。バスの車体についても、近鉄バスと阪急バスに乗りますが、二つは違います。乗降の際に段があるかないか、車両が上昇するかしらないかなど。これから高齢者が増えてきます。段差があると躓いたりするわけです。そういう部分の気づきもあると思います。停留所やルート、コストがかかるでしょうが、車体の問題などあると思います。ぜひバスに乗っていただきたいと思いま

す。そういったことで、気づかれたことなどありますか。

委員

確認をしたいのですが、機殿朝見での地域の要望がありましたが、具体的にはどのようなものでしょうか。また、アンケートはいつ頃されるのでしょうか。また、公共交通がない地域で、まちづくり協議会の地域計画に記載されているとのことですが、協議会が主体となってアンケートをされていると思いますが、松阪市としてどのような対応をされているか教えていただきたいです。

事務局

機殿朝見の路線変更の希望ですが、朝見地区の方で高町に開業医をしている方がみえまして、朝見地区からそちらに通院をしたい方が利用したいとのことでした。それで、路線変更で対応できるのかどうかがありまして、どの程度の人が通院しているかなどの把握ができておりませんので、アンケートを実施したうえで検討していこうとしています。アンケートの実施時期については、今年度中ではなく来年度に実施していきたいと考えています。次に、各まちづくり協議会の地域計画に対する対応ですが、計画の中にコミュニティバスなどを計画している地域については、他の地域にも多数ありますが、地域の課題としての重要度に応じて対応しています。今回の二つの地域は、地域から声をいただいた中で、動いています。あくまでまちづくり協議会が主体となった取組ということで、我々が主体となるわけではありませんので、まずはこの二つの地域から動いている状況です。

会長

利用する人が考えていくという発想でしょう。今までは、余裕があれば、利用者がいるかわからなくてもやった方が良く、こうあるべきだと言ってしまえばできたのでしょうか。それだけでは、許されなくなっています。みなさんで考えてということが、原点になりつつあるようです。まちづくり協議会というものができてきて、充実してきていると思いますので、そこで十分協議をして、良い方法をもって、駆け引きなどあるかもしれませんが、良い方向に持って行くと。ほかにありますか。

委員

昨日、松阪の宇気郷では、まつりがあって、行ってきましたが、車の台数が多くて、どうにもならないので、嬉野の宇気郷ではどうしているの。といった話をしていました。こちらは、三重交通に頼んで、バスを出してもらっているよ、もっとバスを使ったらどうですかと話しました。松阪の宇気郷では移動手段に困っています。そちらの方にも誰かコミュニティバスをとということで、声をあげてもらえないのかと思っています。

会長

イベントなどでの方法の情報などいただきました。

委員

気づいたところ、黒部のバスですが、スタートの地点から時間変更や停留所の新設などもあり右肩上がりだったのですが、先日の地域の運行協議会で細かいデータを見せていただきました。ひと月に700という数字がスタート時にありましたが、それを800に伸ばさなければということで、地域で利用の仕方についていろいろ自治会などで意見を出し合い、800となっていました。先日の会議のデータでは、利用が減っているわけです。14時とか16時の時間帯はほとんど利用がない状況で、その便に乗ったときですが、運転手が状況を教えてくれました。誰々がパートをやめたらしいや、体を悪くして利用がなくなったなど細かい話が出ました。そういう人が増えてくると、1か月でも一人で20回の減などがあり、具体的な数字に出てきます。私たちも情報を集めながら、コミュニティバスの利用の啓発をしていくことを心掛けたいと思います。自治会の集会などで、バスの利用方法などを周知するなど、スタート時点に帰ってやっていきたいと思っています。ほかにも大西病院が昨年末くらいから、総合病院をやめるなどの機構改革がされて、黒部に他地区から見舞いなどで来るといって利用が減っています。そういったデータもこれから出てくると思います。それ以外にも以前から話が出ている黒部線を明和のイオンまで伸ばすといった話もあり、時間がどれくらい伸びるかなどありましたが、検討してはという話も出ました。しかし、我々がかつての路線バスに乗ると、松阪駅まで30分くらいかかりましたが、路線を延長することによって、伸びるとなると、時間が悪くなるなどそういう問題も出てくるかと思っています。それぞれの利用の目的によって、みなさんで協議し、時間や便利性から協議すればよいと思います。要するに、黒部線は今まで順調ということでしたが、右肩上がりではなく、不調になってきています。このあたりでもうひと踏ん張りし、知恵を出し合いながら、利用者の責任もあるとおもいますが、やっていきたいと思っています。

会長

それぞれの地域での現状でした。運転があるので気をつけなければいけません。運転手と乗客の関係。先日、榊原のバスにりましたが、運転手さんがいろいろな話を教えてくれました。一つの情報交換の場として、運転手だけでなく普段利用する人などからでもきたらと思います。もう一つ気になったのが、サービスを提供している側から、まちづくり協議会などに、意見を求められたり、参加しているかなどどうですか。

委員

全然ないです。正直先走りしていると思います。黒部線については、東海地区でもだいぶ早くできました。まちづくり協議会には、バス会社やタクシー会社は参加していません。

ということは、単独で動いていると思いますが、道路運送法などしているのかなど気になっています。そういう問題がなんでも走れば良いというのではなく、みなさんバス、バスおっしゃいますが、考えていただきたいのは、大石から上、川合高岡から上はタクシー会社がなくなりました。理解していただきたいのは、安ければ良いとおっしゃいますが、タクシーは、元々は電車、バスがなくなってからのものです。それで市民の足はあるのですかと。救急車が飯南の方に出勤が多いというのもそういうところがあるのではないかと。タクシーがないから。確かに料金が高いと言われたらそうかもしれませんが、多気町がやっているデマンドタクシーなどどうかと。さきほど病院の話も出ましたが、そういう一企業に行政が便宜を図るのはどうなのかと思っています。もう少し多気町がやっているようなデマンドなどでバスがないところの相談に乗っていきたいと思います。いつも言うのですが、広いところはバスで、人数が少ないところはタクシーでということをご理解いただきたい。それとまちづくり協議会に関しては、まったくお呼びがかからないです。以上です。

委員

タクシーの話が出ましたが、今日は副会長が不在ですが、ある雑誌でタクシーの話をされていました。委員からも出ましたが、飯南飯高でタクシー業者がないということですが、かつては、どの駅でも鉄道を降りたら、タクシーが止まっていたのに、今はないと。どこへ行ったのかといえば、みんな総合病院に行ってしまったと。駅前には、電話が置いてあって、利用の場合はそれを使うと配車されるということでした。それと、タクシー自体が減っていると、平成の大合併以前で考えると、タクシー業者がないという自治体がゴロゴロしていると。近辺でも飯南や飯高がそうですね。鉄道、バス、タクシーと公共交通機関がありますが、最初に廃止されるのは鉄道で、それを受けてバス、それもなくなったら、最後の砦はタクシーですが、それも、福祉有償運送などに影響されて減っていくとおっしゃっていました。以上です。

会長

移動の手段というのはいろいろあります。公共交通で鉄道、バス、タクシー。これを代替的に捉えるのではなく、それぞれを補うような形でやるのが相互扶助だと思いますが、資源があるならそれを補うような形で使っていくとよいと思います。私もそう思います。副会長は日ごろからおっしゃっていますが、流れとしては、鉄道が廃止されバス、バスがなくなりタクシーやコミュニティバスとなっていますが、あれかこれかではなく、欲張りですが、あるならあるものをうまく使っていくと。そうしないと結局全部だめになってしまうのじゃないかと。まだ、松阪市は人口もあります、広域に渡っています。いつまでもマイカーに頼ってられない現実があると思います。公共交通がますます重要になっていくかと思っています。

まとめるつもりはありませんが、色々な意見をいただきました。

委員

兵庫県の豊岡市というところで、地区のタクシーということで、チクタクというものがあると伺いました。漕代地域ですが、まさに空白地域ですが、地域で取り組んでもらえない部分がありましたが、昨年やっと上がったと聞きましたが、役員の交代があって元の状態に戻ってしまっていますが、そういったことに地域が取り組めるようになったらアドバイスをいただきたいと思います。

会長

副会長は専門家なので、十分な知識があります。貴重なご意見承っておきます。

委員

黒部のコミュニティですが、平成18年に運行を開始しました。その当時は、松阪市で初めてのコミュニティバスで、住民の理解を求めたり行政も大変骨を折ってもらいました。その当時の状況と今とではだいぶニュアンスが変わってきています。立ち上げの時は、ワンコインと福祉車両というのが大きなポイントでした。地域の協力については、決まっていたので、1戸あたり800円の拠出金も頑張りました。ただ、10年もたってきましたので、ワンコインというのは考え方も変わってきているのかもしれませんが。便利さを追えば、経費があがり、運賃100円や800円の協賛金というのも変更の必要も出るかもしれません。そういう部分を地域の人にわかってもらえるように頑張っていく必要があるかもしれません。

会長

コミュニティバスを導入することのキーワード、ポイントがあったんだと思います。私たちが安心して生活できるという。移動の手段としては、地域の特性があります。大阪の梅田にも100円バスがありますし、博多などの九州などの都会にもあります。人口が多いということもあるでしょうし、千葉のハーバーシティでは、ショッピングモール向けの無料の巡回バスがありました。いろいろな取り組み方があると思いますし、松阪市内もショッピングモールを繋げるというやり方で始まっていますので、そこを循環させてもらえれば、コストはお店に出してもらうなどできれば変わってくることもあるでしょう。アイデアはいろいろあると思います。別に効率の問題だけではありません。

ほかにございますか。では、本日は終わりいたします。